

春爛漫、花々の咲き誇る今日の良き日に、入学式を挙行できますことを大変喜ばしく思います。

新入生のみなさん、入学おめでとう。また保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございます。在校生・教職員一同、心より歓迎いたします。

ご来賓の皆さま方には、公私ともご多忙の中、本校入学式にご参列賜り、誠にありがとうございます。

21世紀はグローバル社会です。最近、テレビ・ラジオ・新聞などに横文字がたくさん出てきます。知らない英単語や AI や VR をはじめアルファベットを略したものがよく出てきます。私も調べることが増えました。皆さんも英単語をたくさん覚えてください。

小池百合子東京都知事は、「スマートシティ・エコシティ・ダイバーシティ」というフレーズを使っています。

スマートは賢いという意味です。スマートホンのスマホです。皆さんもスマホを使っている人が多いと思います。CMのキャッチコピーにも「私たちはスマホと共に生きている」など使われるくらい若者を中心に普及しています。真の意味でスマートに使ってください。便利さの裏には落とし穴があります。使い方を間違えると、人生を左右することにもつながりかねない恐ろしいものであると認識して利用してください。保護者の皆様もしっかり管理してください。

スマートシティとは、賢く生活しやすい街という意味でしょうか。

エコは、エコロジー（生態学）のエコ、環境に良いということに繋がり、エコノミー（経済）のエコでもあるので環境と経済は繋がっていて、バランスよく発展し安全で快適な社会にしなければならないということです。

エコシティは、経済的にも環境的にもいい街ということでしょうか。

最後のダイバーシティ=Diversity は、多様性ということです。前の 2 つは city の前に形容詞がついたものでしたが、diversity は、一つの単語です。

意味は多様性です。十人十色、みんな違っているからこそ面白い。

人間社会は、多くの様々な人が、共に支え合いながら社会を作り上げています。共に生きることを「共生」と言います。本校の校章は、ダイヤがお互いに支え合うようにバランスよく形作られて「共生」を表しています。

次に高校生活の心構えを話します。皆さんも 3 つのことを考えてみてください。

1 つは、「学校に通う意味」 2 つ目に、「学びの意味」 3 つ目に、「生きる意味」です。

難しいですが、考えてください。大人になると、正解が一つと限らない問いへの回答が求められます。

#### 1、学校に通う意味（集団の中で自制心を身につける）

集団生活の中で、自分の欲求を自制していくこと学びます。

若い皆さんは、人と違うことを極度に恐れる傾向があります。現代だけではありません。日本人の古い集合写真を見ると、大体若者はみんな同じ格好しています。流行です。自分自身が確立されていない思春期特有のものです。

自己を確立するのが高校時代です。みんなと共に過ごし、違いをお互いに認め、自分で考えたことを話し、相手の言いたいことを理解し尊重し合いながら生きる多様性・寛容性を身につけることが、高等学校に通う意味です。

クラスメート・チームメート・先輩後輩・地域の方々・家族のみんなとの人間関係を学ぶことが大人になるということです。

基本的には、相手のことを自分のことと同じように考える力が必要です。「自他一如」です。同じ事と書いて「同事」という言葉があります。同じ事を行うのが同事行です。

同じ事を行い、共通の感動を体験することで、お互いの関係性・絆が強まります。

本校の3年間には、楽しいことや辛い体験・経験をする学校行事がたくさんあります。感動体験を通して、豊かな心を育んでください。

校歌の2番のはじめは「自分を愛するように他人を愛そう」ではじまります。

多様性・寛容のこころ、つまり自己中心でなく、他者を理解し、お互いを尊敬する心を磨いてください。

## 2、学びの意味（思考力・判断力を身につける）

学べば学ぶほど分からないことが増えていく。学びは不思議なものです。しかし学ぶことは、今までもこれから生きる力を高めるために必要です。

分からないから考えないのではなく、考えるようになるため、判断できるようになるためには、基礎力が必要です。そのために学ぶのです。いわゆる『学問のすすめ』です。

知らないことは恐ろしいことです。知らない間に騙されているかもしれません。

人類は、体験を通じて学習し、生きのびてきました。本来的に未知のものを知りたがることは、私たちの脳の奥深くにセットされています。学びの喜びはそこから来ます。知らないことが分かるようになることで幸せな気分になれます。

興味を育む、五感を磨く、感性を磨く（特に目に見えないものをキャッチする力）ことが学びへ向かわせます。自分の可能性を信じて、一生懸命に精進してください。

## 3、生きる意味（感謝・慈悲・まごころを知り、力をつけ利他行を実践する）

皆さんは、21世紀に入ってから生まれ、21世紀を生きる世代です。「自立」しなければなりません。

21世紀型の生きる力は、1、基礎力 2、思考力 3、実践力 の3つとされています。これをトータルにバランスよく高めることが生きる力に繋がります。

基礎力は、言葉や数字、情報を読み解く力です。日々の授業を通じて基礎力が高まります。集中して授業に取り組む習慣を身に付けてください。

思考力は、その基礎力を使い、自ら問題を発見し解決策を見つけることです。また未だ誰も思いつかないことを創造することも思考力です。与えられたものを使うだけでなく自分自身で工夫をしてゆくことは、これからの時代に大いに求められます。

実践力は、知っているだけに留まらずに実際に行い、挑戦することです。知識と行動を

一致させることは「誠実さ」に繋がります。人は行動を通じて人格形成してゆきます。何を考えているかは、周りからは見えませんが、どのように行動しているかは良く見えます。基礎力・思考力に留まらずにそれを行動に移す実行力が求められます。

人生には限りがあります。ただし短くはありません。長い人生を生き抜く為に、毎日を誠実に生きる。当たり前前の日常への感謝、頂いた縁を大切にするまごころも忘れてなりません。

人生は楽しいことばかりではありません。試練や困難、正念場もあります。「その時どう動くか」よく考え、実践することが、より良く生きることにつながります。

最後に、実践的なアドバイスをします。基本的な生活習慣を身につけることが一番大切です。毎朝、決まった時間に起きて、決まったことをし続けることが、基本的な生活習慣です。昔から「早起きは三文の徳」と言われます。

先月、卒業した生徒は、約半分の生徒が3か年皆勤で卒業してゆきました。皆さんも「何があっても学校に行く」と心に誓ってみてください。そういう思いが自分自身をそのように動かします。念ずれば通じます。

高校3年間を有意義に過ごして、21世紀社会を生き抜くため、人としての根を育ててください。子どもから大人への成長が期待される3年間です。

常に向上心を持って高い目標に挑戦し、その為の努力を惜しまない人になってください。

皆さんが、これまで以上に積極的に困難な道を選んでいくことを期待して、平成29年度入学式式辞とします。

以 上